危険木の撤去状況について（報告）

R5年2月末時点　熊本城総合事務所

資料３

〇これまでに撤去した危険木･･･163本（危険木322本のうち51％完了）
　内訳：R2年度 11本、R3年度 44本、R4年度 108本

危険木撤去の優先箇所（判断の目安）※撤去順位をおおまかに絞り込み、順応的に対処している。
- 公開エリアのうち特に人の多い場所（二の丸広場内、主要な動線横など）
- 重要文化財建造物等に影響を与える危険木
- 腐朽度合いが深刻化しており、特に危険と判断される樹木
- ベッコウタケといった緊急度の高い菌類の着生が認められた樹木

〇残りの危険木
　来年度以降に撤去予定の危険木　153本
　その他　古樹・大樹のため保存　　6本

上記と別に、
　古樹で危険※と判断した樹木（第一高校隣接）※危険かつ回復の見込みがないと判断
　　・・・委員にメールにて確認後、撤去（R4年度）

⇒古樹・大樹で撤去が必要と判断される場合は、
　今後も熊本城跡保存活用委員会に事前に確認して進める。

公開エリアのうち特に人の多い場所

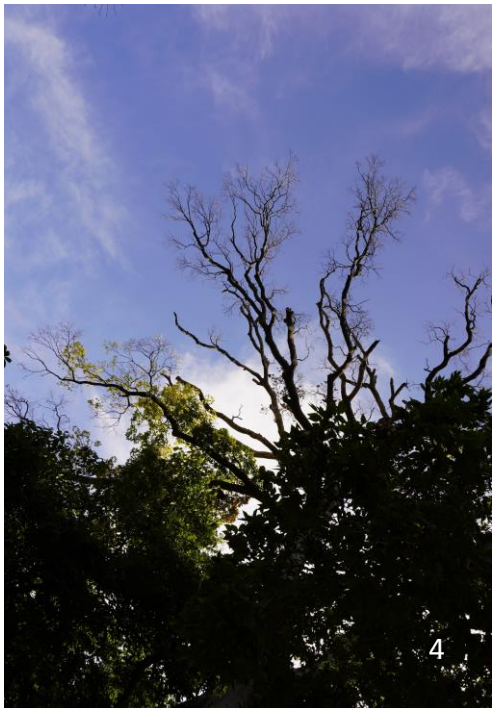
本丸 行幸坂　サクラの例
・利用者が特に多い園路横
・腐朽が進んでいる

公開エリアのうち特に人の多い場所

二の丸広場　ケヤキの例
・利用者が特に多い広場
・腐朽が進んでいる

重要文化財建造物等に影響を与える危険木

本丸 長塀沿い　エノキの例
・枯損枝による重要文化財建造物の毀損の危険



腐朽度合いが深刻化しており、特に危険と判断される危険木

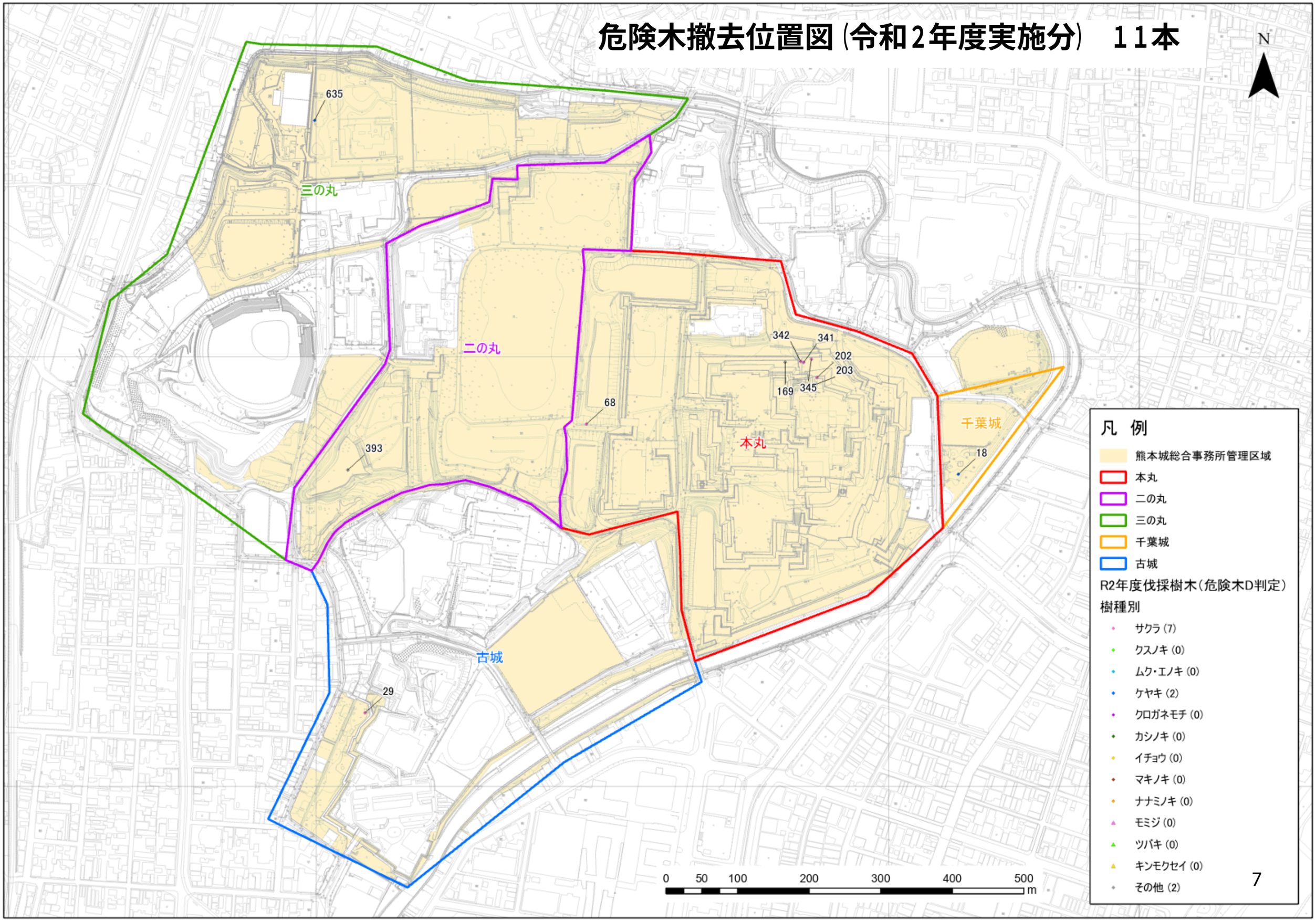
二の丸（野鳥園）スダジイの例
・腐朽が深刻化（菌類の着生）
・公開エリア

ベッコウタケといった緊急度の高い菌類の着生

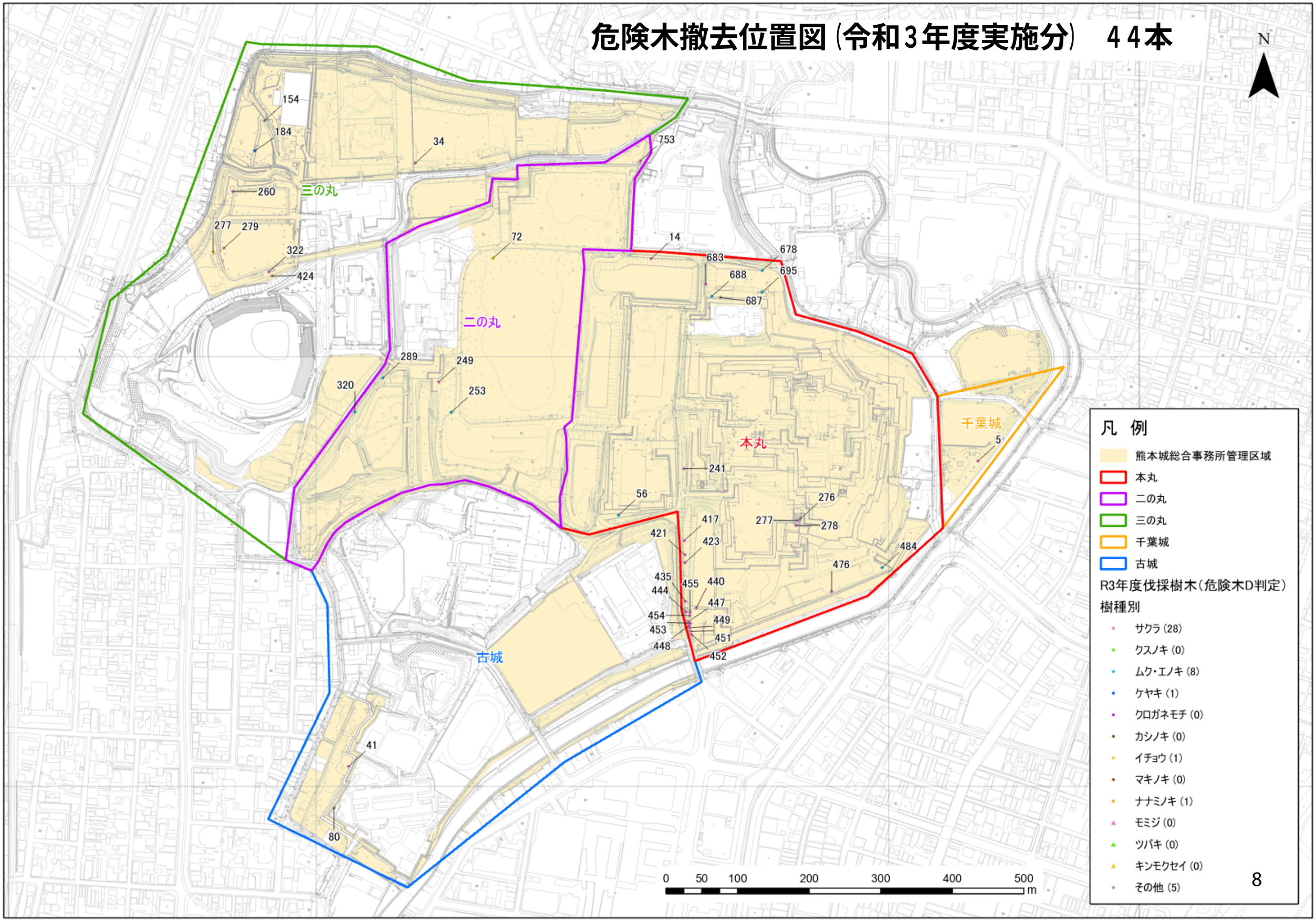
千葉城（高橋公園） サクラの例
・ベッコウタケの着生

本丸（長塀沿い） エノキ（倒木）の例
・ベッコウタケの着生

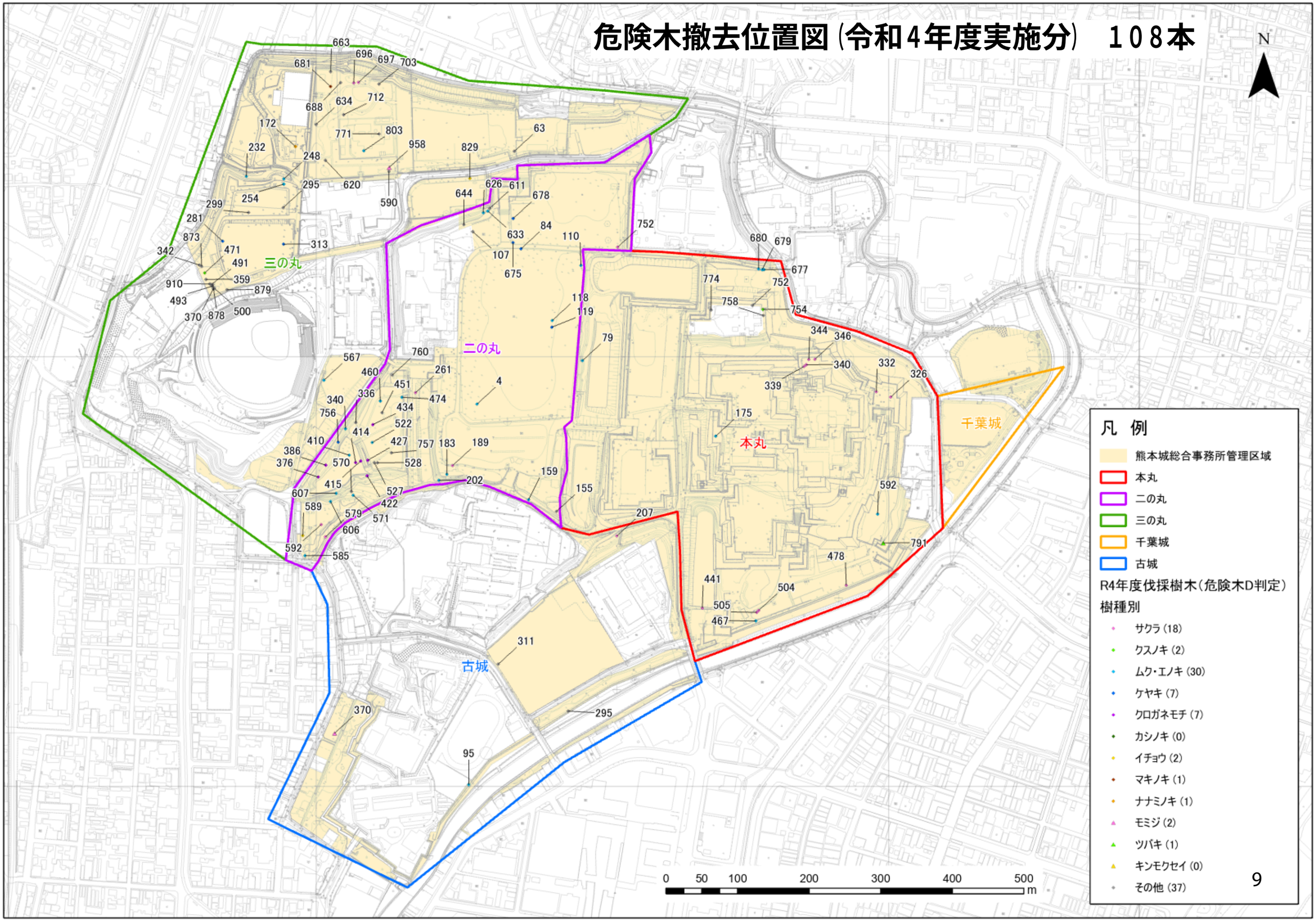
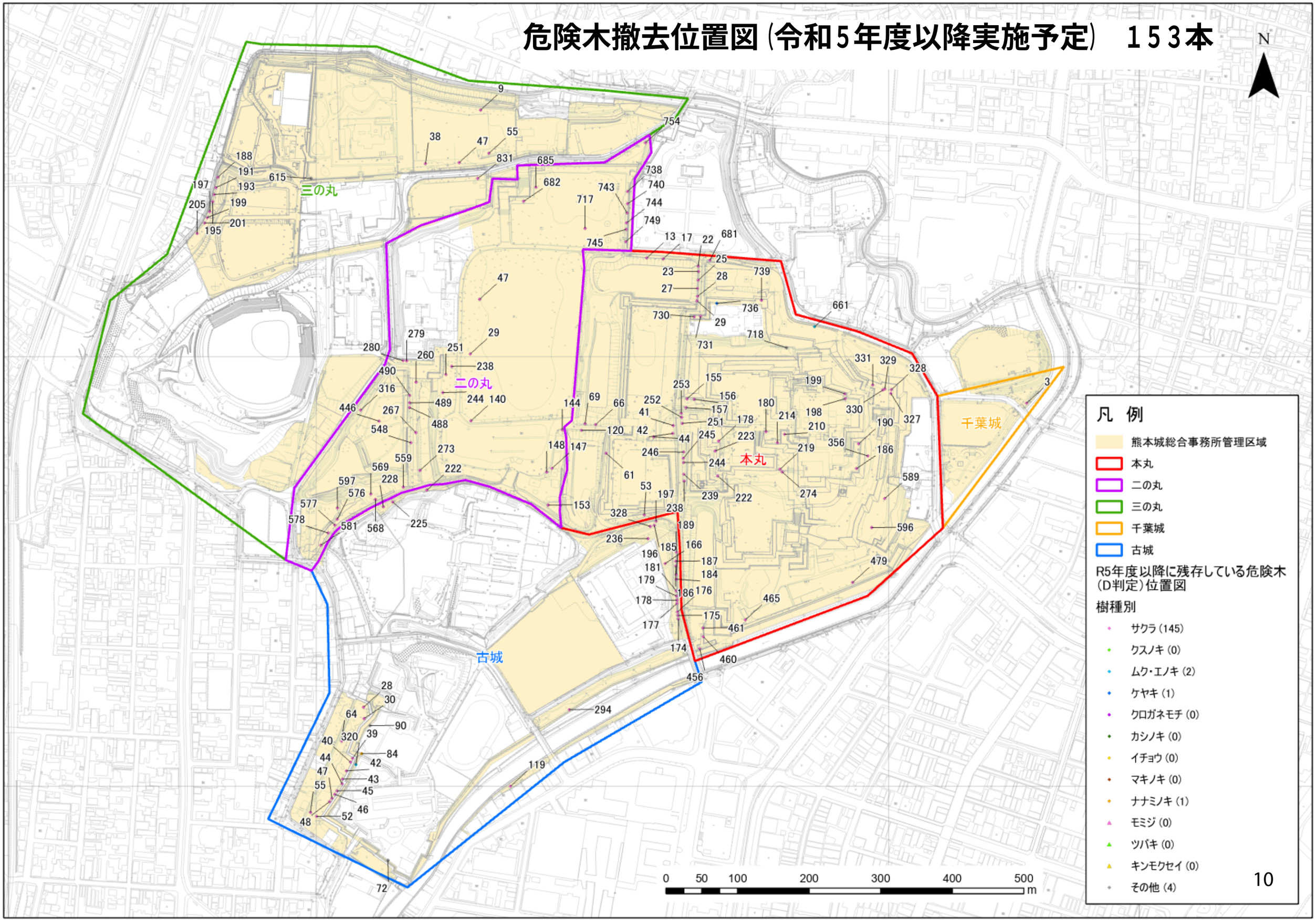
危険木撤去位置図（令和2年度実施分）　11本



危険木撤去位置図（令和3年度実施分）　44本



危険木撤去位置図（令和4年度実施分）　108本



危険木撤去位置図（令和5年度以降実施予定）　153本